

製品名: RPS6 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe21159

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:29kD;Observed MW:31kD

抗原情報

遺伝子名	RPS6
別名	RPS6;OK/SW-cl.2;40S ribosomal protein S6;Phosphoprotein NP33
遺伝子 ID	6194.0
SwissProt ID	P62753
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

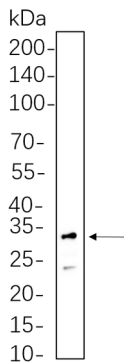
細胞局在: 細胞質、核。タンパク質合成を触媒する細胞小器官であるリボソームは、小さな 40S サブユニットと大きな 60S サブユ

ニットから構成されています。これらのサブユニットは、4種類のRNAと約80種類の構造的に異なるタンパク質で構成されています。この遺伝子は、40Sサブユニットの構成要素である細胞質リボソームタンパク質をコードしています。このタンパク質は、リボソームタンパク質のS6Eファミリーに属します。リボソーム中のタンパク質キナーゼの主要な基質であり、5つのC末端セリン残基のサブセットが異なるタンパク質キナーゼによってリン酸化されます。リン酸化は、成長因子、腫瘍促進因子、マイトジェンなど、幅広い刺激によって誘導されます。脱リン酸化は、成長停止時に起こります。このタンパク質は、特定のクラスのmRNAを選択的に翻訳することにより、細胞の成長と増殖の制御に寄与していると考えられます。リボソームタンパク質をコードする遺伝子に典型的であるように、複数の処理された

研究分野

-

画像データ



3T3-L1細胞ライセートを4~20% SDS-PAGEで分離し、メンブレンをRPS6ウサギモノクローナル抗体(1:1000)でプロットングした。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H+L)抗体を用いた。